



環境活動レポート2017

(2017.04.01～2018.03.31)

コンピュータロニクス株式会社

2018年5月10日発行

コンピュータロニクス株式会社

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-4-14オザワビル

Tel.03-3667-4133

<http://www.computronics.co.jp/>



エコアクション21
認証・登録番号 0000439

目次

- はじめに
 - 1.環境方針
 - 2.中期環境目標
 - 3.環境活動計画と内容(2017年度)
 - 4.目標とその実績(2017年度)
 - 5.環境保全活動の取組結果の評価
 - 6.環境関連法規への違反、訴訟の有無
 - 7.代表者による評価と見直し
-

1. コンピュートロニクス環境方針

＜基本理念＞

コンピュートロニクス株式会社は、ソフトウェア開発を通じて、人や環境に優しい社会の実現に貢献する企業を目指します。

＜行動指針＞

1. ソフトウェアの開発業務のなかで提案を実施することで、設計から納品までの開発工程における効率化により環境への負荷の低減を継続的に推進します。
従業員の総労働時間の短縮に取り組み、環境への負荷の低減に寄与します。
2. 事業活動に関わる全ての領域で、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減に取り組むと共に、資源循環に配慮することを推進します。
3. 環境関係法令を遵守し、環境経営システムと環境保全を継続的に改善することを推進します。
4. 環境教育や広報活動の実施により、当社で働くすべての人に環境方針を周知するとともに、以上の環境活動をレポートとしてまとめ、自社のホームページ上で公開して、一般の閲覧を可能にします。

2015年4月1日
コンピュートロニクス株式会社
代表取締役 北田 孝志

2. 中期環境目標

1. 総労働時間の短縮

- (1) 2017年度からは、超過時間を20時間/月/人とする。
- (2) 2017年度以降2019年度までは上記を維持することを目標とする。
スマイルやe-就業を導入し、勤務の実態を早めに把握し高稼働の抑制指導を行う。

2. 電力使用量

- (1) 2017年度は、13,000kWh/年以下を目標とする。
- (2) 2017年度までに、上記より3%削減することを目標とする。

3. 紙の使用量

- (1) 2017年度は、年間71.6kg(A4換算20,000枚)を目標とする。
- (2) 2019年度までに、上記より3%削減することを目標とする。

4. グリーン購入の推進

グリーンマーク商品を優先的に購入し、購入品目数に対して90%を目指す。

3.環境活動計画目標と活動実績(1/2)

以下に2017年度の環境活動目標と活動実績を記述します。

1. 従業員総労働時間の短縮

従業員1人当りの超過時間を、20時間/月以内と定め、総労働を短縮することで環境負荷の低減に結びつける。

施策: 毎月の定例連絡会議で実績を把握し、さらに問題点があればこれを是正する。

目標: 超過時間については従業員1人当りの超過時間を、20時間/月以内とする。

実績: 12.97時間/月 → 達成

2. 電力使用量の削減

電力使用量の目標を年間13,098kWh以下とし、これを維持または削減する。

施策: 空調温度(夏27度、冬20度)の管理は継続する。

目標: 電力使用量を13,098kWh以下にする。

実績: 電力使用量13,166kWh → 不達成

3.環境活動計画目標と活動実績(2/2)

3. 紙使用量の減少

紙使用量年間71.6kg(A4換算20,000枚)を目標とし、前年並みを目指す。

施策:受信FAXのペーパーレス化等は継続する。

目標:紙の使用量を、年間71.6kg(A4換算20,000枚)以下とする。

実績:年間71.6kg(A4換算20,000枚)→達成

4. グリーン購入の推進

目標:グリーンマーク商品を優先的に購入し、購入品目数に対して90%を目指す。

実績:購入品目数に対して96% →達成

5. オフィスから排出されるゴミの分別及び重量の計測

オフィスから排出されるゴミを、

紙類(紙ごみ、重要文書、新聞紙、ダンボール、雑誌、カタログ)、缶、ビンペットボトル、発泡スチロール、プラスチック、不燃ごみ、可燃ごみ、蛍光灯、電池の10種類に分別し、それぞれの重量を計測する。

6. 水使用量削減について

テナントビルにつき、水使用量が把握ができないが、フロア配分による水使用量の把握に努める。

4.実績

実績(2015～2017年度)					
		単位	2017年度	2016年度	2015年度
総エネルギー投入量	購入電力	kWh	13,166	13,029	12,619
	化石燃料	MJ	0	0	0
総物質投入量	資源投入量	kg	71.6	35.8	71.6
水資源投入量(排水量)	上水	m ³	72.32	75.44	71.88
温室効果ガス排出量 (排出係数)	二酸化炭素*	kg-CO ₂	6398	6,515	6,701
			(0.486)	(0.500)	(0.531)
廃棄物等総排出量	再生利用	kg	330	408	227
	単純焼却	kg	40	39	31
廃棄物最終処分	最終処分量	kg	0	0	0

注)車両の保有はなし

注)資源投入量、循環資源投入量は紙の使用量とした

注)ガスの使用の代わりに電力を使用している

注)化学物質削減については該当しない

5.環境保全活動の取組結果の評価と 次年度の取り組み(1/2)

以下に、2017年度の活動の評価と2018～2020年度の取り組みを記述します

1. 使用総エネルギー量に対する評価

- ①2017年度は、導入したUPSの劣化防止の為室温30度以下を要し夏場は終日空調利用のため使用量が増加
下期で目標値を見直したが目標達成ができなかった
- ②2018～2020年度は、続けて休日出勤において部分点灯・空調を徹底するとともに夏場の空調終日使用にむけて目標値を見直す
本社での作業人数増加することを考慮する

* 目標値: 13,200kWh/年

2. 紙使用量に対する評価

- ①2017年度は、FAXの通信レポートをメール受信に変更した
- ②2018～2020年度においても、継続して努力する

* 目標値: 20,000枚/年

3. 超過勤務について

- ①2017年度は、超過勤務時間、総額とも目標を達成できた
勤怠システムを勤次郎からe-就業に変更し、超過(残業)時間の警告が30H.40H.60Hとリアルに社員・管理者へメールされる
- ②2018～2020年度は、e-就業により、社員個人、管理者に定例会議からも超過勤務の36協定遵守を徹底するよう働きかける

* 目標値: 240.00H/年

5.環境保全活動の取組結果の評価と 次年度の取り組み(2/2)

4. 作業効率化の提案ができるように研修(トーマツ)を有効利用し、社員のスキルUPをはかる
5. グリーン購入について
 - ①2017年度はグリーン購入率96%と目標を達成した
 - ②2018～2020年度は、引き続きグリーン購入を優先する

* 目標値:対象購入数の90%

注)2018年度以降はEA21ガイドライン2017年年版で活動するので、取り組みが変更なることがある

6.環境関連法規への違反、訴訟の有無

以下に環境関連での法律違反、及び訴訟の有無について記述します。

1. 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に対する違反
当社設立以降、有りません。
 2. 環境関連での訴訟事案
当社設立以降、有りません。
-

7.代表者による評価と見直し

以下に代表者の見直しを記載する

1. 環境方針については継続する
2. 環境目標の超過時間削減は十分な成果を得ることができた
e-就業により速やかな超過時間の把握を推進する
電力使用量の目標設定値の見直しが必要
3. 環境活動にそぐわない業務を受託しない
4. 環境と社員の健康を考慮し、一般社員への仕出し弁当の補助を実施する
5. 2018年度以降は、EA21ガイドライン2017年度版で活動する

2018年5月
代表取締役 北田 孝志
